

平成 27 年度
事業報告書

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人くらしサポート越後川口

1 事業期間 平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

2 年度総括

平成 27 年度は前年度に定めた事業計画に基づき各事業を実施した。定例総会を 5 月 10 日に開催し、平成 26 年度の事業報告および決算について報告を行った。各事業は事業計画および事業方針に沿って進め、事業としては川口きずな館の運営管理、川口地域バスの運行、川口運動公園の指定管理業務（3 社合弁）、JR 東日本信濃川発電所川口プラザの施設管理を実施。

地域活動では、一昨年度に行われた「生活実感調査」に基づき活動を始め、拠点施設の川口きずな館及び川口プラザを中心に「若手参画イベント」を実施。川口在住の 20 代～40 代を中心に「若手が集える場所づくり」を進めてきました。また、前年度に続いて川口中学校の総合学習支援や、地域の祭りなど催事への参加及び協力を行ったほか、地域づくり事務局として地域団体や集落から要望を聞き取り支援する活動を行った。

また、毎月各地域を回り開催している「きずな茶会」をより意義のあるお茶会にするため「くらサボ茶会」と名称変更し多世代が集える場として開催をしました。

3 諸会議

1) 平成 27 年度 総会の開催

平成 27 年 5 月 10 日（土）19:00 JR 東日本信濃川発電所 PR 川口プラザ

出席数：131 名

審議事項：

議案第 1 号 平成 26 年度事業報告について

議案第 2 号 平成 26 年度決算について

議案第 3 号 平成 27 年度事業計画、収支予算について

議案第 4 号 役員の選任について

各議案について、出席会員による議決承認を得て平成 27 年度事業を進める

2) 理事会の開催

・ 26 年度第 4 回理事会

平成 27 年 4 月 17 日（金）19:00 JR 川口プラザ

内容：平成 27 年度総会議案の審議、会員への通達事項について

・ 27 年度第 1 回理事会

平成 27 年 6 月 15 日（月）19:00 JR 川口プラザ

内容：組織体制審議、独自事業計画について、請負事業について

・ 27 年度第 2 回理事会

平成 27 年 9 月 15 日（火）19:00 JR 川口プラザ

内容：オール川口フェスタ計画と予算について、黄バス定期券導入について

・ 27 年度第 3 回理事会

平成 27 年 12 月 28 日（月）19:00 JR 川口プラザ

内容：オール川口フェスタ 2016 について、就業規則改定について

・ 27 年度第 4 回理事会

平成 28 年 3 月 29 日（火）19:00 JR 川口プラザ

内容：28 年度事業計画について、黄バス定期券進捗、地域おこし協力隊について

4 事業の実施、成果に関する事項

1) 「支えあう温かい地域づくり」・地域生活を住民と共に考え実践していく参加型事業

(1) 地域交通確保と充実 [地域バス事業の受託]

①川口地域バスの運行 (補助金事業)

[運用実績]

平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月：延べ運行日数 258 日

(1 日運行便数 3 路線 7 便、延べ 21 便)

期間	4 月 1 日～3 月 31 日	運行日数	258 日	年間旅客人数 9,736 人
				平均旅客数 37.7 人/日

②回数券の運用 (自主事業)

平成 26 年度販売枚数：415 冊	→	平成 27 年度販売枚数：471 冊
--------------------	---	--------------------

・1 冊単価 1,000 円 100 円券 11 枚綴り

③レンタカー事業開始 (自主事業)

・平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月：ハイエース 2 台

平成 26 年度利用実績：43 件	→	平成 27 年度利用実績：52 件
利用日数：83 日	→	利用日数：108.5 日
平成 26 年度売上 681,472 円	→	平成 27 年度売上 975,952 円

(2) 高齢者の生活支援「住民の集い・語り・仲間づくりの場の提供」

①「出張きずな(くらすぽ)茶会」各集落巡回型事業 (自主事業)

開催数：今年度は 11 回 (通算 28 回開催)

日時	会場	参加人数
平成 27 年 4 月 23 日	荒谷地区	4 名
平成 27 年 6 月 25 日	川岸・相川口地区	16 名
平成 27 年 7 月 30 日	貝ノ沢地区	4 名
平成 27 年 8 月 24 日	相川・武道窪地区	17 名
平成 27 年 9 月 30 日	荒屋・新敷地区	17 名
平成 27 年 10 月 26 日	岩出原・山の相川団地・西川口地区	6 名
平成 27 年 11 月 25 日	中新田・原新田地区	7 名
平成 27 年 12 月 21 日	西倉地区	6 名
平成 28 年 1 月 29 日	和南津地区	18 名
平成 28 年 2 月 29 日	田麦山地区	11 名
平成 28 年 3 月 31 日	木沢地区	15 名

協力：「川口サテライト・包括支援センター」

各会場ではミニゲーム、紙芝居や健康体操なども実施。また川口中学生考案の「かわぐっち体操」を各会場にて披露

2) 「豊かな心を育む地域づくり」・環境、人づくりで「地域力」を向上させていく事業

(1) 学習活動の実施、人づくり事業の実施

①川口中学校総合学習 授業支援 [全8回] (協賛事業)

- ・平成27年5月から12月にかけて全8回の授業協力を実施
[テーマ] 中学生が考える川口の魅力 (3年生41名が参加)
A班「観光を考える」 B班「農作業を体験」
C班「農産物プロデュース」 D班「ボランティア (体操など)」
- ・平成26年12月に校内発表を行いました。マコモダケを使った新たな商品開発や「かわぐっち体操」を披露しました

②趣味、教養活動の支援および実施 [計16回] (自主事業) [会場: きずな館]

日時	内容	参加人数
平成27年5月16日	「かんたんデコパージュ」	6名
平成27年6月14日	「夏糸で小物編み」	5名
平成27年7月~10月	「茶道教室・おもてなしの心と作法を学ぶ」計7回	延べ30名
平成27年9月20日	「秋のクラフトづくり」	6名
平成27年11月1日	「地元の人が伝える・紙細工講座」	10名
平成27年11月15日	「郷土料理・笹の押し寿司」	22名
平成28年1月4日	「ペーパークラフト・かわぐっちを作ろう」	8名
平成28年1月31日	「紙細工講座第2回」	8名
平成28年2月11日	「囲碁ボール」	40名
平成28年2月21日	「スノーペイント」	5名

地域の事業者、地域づくり団体、近隣地区活動団体の協力、協賛により年間を通じて実施

(2) 文化活動の実施

①企画展の開催 [会場: きずな館・JR川口プラザ]

日時	内容	会場
平成27年4月16日~5月31日	「星野靖 絵画展」	きずな館
平成27年6月1日~29日	「JR鉄道 (ぼっぼ) 写真展」	JR川口プラザ
平成27年8月1日~8月30日	「小宮山文男 写真展」	JR川口プラザ
平成27年11月12日~12月25日	「ぼちぼちたけだ展」	きずな館
平成28年1月29日~2月29日	「杜の会主催 絵画展」	JR川口プラザ

②若者向けイベントの開催 [会場: きずな館・川口プラザ] (自主事業)

日時	内容	参加人数
平成27年5月30日	夜のきずな館「ダンスダンスうどん」	17名
平成27年8月30日	夜のきずな館「スプラッシュそうめん」	17名
平成27年12月19日	夜のプラザ「たこ焼きパーティー」	13名
平成28年3月26日	夜のきずな館「チーズフォンデュ」	12名

川口地域の若者を中心とした交流の場づくり。川口で遊び、地元でも楽しいことが出来るという意識づくり。また、未婚者の出会いの場としても活用や参加者自ら企画したイベントを実施

3) 「地域の活性化と交流促進」・・・受託事業と連動した地域資源の再生事業

(1) 地域交流イベントの活性化支援

①地域活性化促進事業「オール川口フェスタ 2016」の開催（自主事業）

実施日時：平成 28 年 1 月 23 日、午前 10 時開幕～午後 3 時終了

概要：長岡市合併 10 周年市民企画事業としてアオーレ長岡で地域 PR イベントを開催
川口地域の地域団体、飲食店、郷土芸能団体が参加
今回は合併 10 周年として合併地域からも出店

動員：3,000 名（アオーレ長岡公式発表）

参加団体：地域 PR コーナー（川口商工会・川口観光協会）
飲食出店 10 団体（地域活動団体・川口町商工会加盟の飲食店）
郷土芸能団体 4 団体（各地区活動団体）
合併地域出店 10 団体（合併地域及び長岡市中心地）

4) 「地域の元気づくり支援」・・・団体間連携を取り持ち、地域協働の絆を深めていく事業

(1) 地域団体、グループの活動支援

①地域づくりの支援（協力事業）

地域集落、団体の要望に応じて**事務局機能を担い**、地域活動を支援（外部への広報活動）

- ・田麦山そばの会イベント
- ・竹田元気づくり会議主催「かんじきウォーク」イベント
- ・Song of the EARTH2015（中越大震災追悼式典）平成 27 年 10 月 23 日

5) 情報発信事業

(1) 活動紹介ホームページの更新（自主事業）

事業活動を紹介するホームページ（www.npo-kse.com）を適宜更新し、実施事業の予告、報告、活動内容を随時紹介。各関係機関ともリンクして相互に情報共有を行う。
また、Facebook など SNS を活用し、迅速な情報発信を行う

(2) 機関紙「くらサポ便り」の発行（自主事業）

活動予告、実施報告を編集、掲載して毎月 20 日に発行しました（12 回）

5 受託事業、助成事業 について

1) 川口きずな館の管理運営事業

・各施設の管理運営業務（委託：公益社団法人中越防災安全推進機構）

平成 26 年度来館者：17,726 人	→	平成 27 年度来館者：11,393 人
----------------------	---	----------------------

川口の皆さんからより利用いただけるよう、イベントなど適宜開催を行った

2) 川口地域バス（過疎地有償運送）

・川口地域バスの運行管理（委託：長岡市）

平成 26 年度利用実績：9,760 人	→	平成 27 年度利用実績：9,736 人
----------------------	---	----------------------

3) 川口運動公園の受付業務

・川口運動公園の施設管理、運営（指定管理：長岡市）

平成 26 年度運動公園利用者 7,482 人	→	平成 27 年度運動公園利用者 6,977 人
平成 26 年度キャンプ利用者 1,362 人	→	平成 27 年度キャンプ利用者 3,186 人

※運営グループとして、グリーン産業（外構管理企業・新潟市）、山崎組（施設管理企業・長岡市）との3社による事業体「川口運動公園運営グループ」により運営を行う（5年委託契約の3年目）

4) JR 川口プラザの管理の管理事業

・施設の管理運営業務（委託：JR 東日本信濃川発電所）

平成 26 年度来館者：3,991 人	→	平成 27 年度来館者：7,952 人
---------------------	---	---------------------

※26年度は11～3月まで5か月間の利用実績

多目的な利用に対応可能。定期利用者もあり、安定した利用がある

決 算 報 告 書

第 5 期

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月31日

特定非営利活動法人くらしサポート越後川口

新潟県長岡市川口中山1441

平成27年度 活動計算書
平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人 ぐらしサポート越後川口

科 目	金 額(単位:円)		備 考
I 収入の部			
1. 会費収入		450,000	
正会員会費収入	420,000		@2,000円×210名
団体会員会費収入	30,000		@10,000円×3団体
2. 事業収入		37,843,400	
1) 事業収入			バス運賃収入 1,867,500
自主事業	3,287,042		レンタカー事業 975,952
			イベント参加費等 443,590
請負事業	22,647,358		きずな館運営(中越防災安全推進機構) 9,498,220
			運動公園指定管理 3社 5,736,316
			JR川口プラザ 7,412,822
2) 助成金	11,909,000		長岡市助成金(合併10周年市民企画) 748,000
			長岡市助成金(バス運行費) 11,161,000
			※上記黄バス返納分含みあり
3. その他の収入		194,588	
雑入	193,737		黄バス広告宣伝収入等
受取利息 他	851		
当期収入合計(A)		38,487,988	
前期繰越収支差額		1,207,627	
収入合計(B)		39,695,615	
II 支出の部			
1. 事業費		31,664,208	
1) 人件費		17,300,911	
給料手当	15,182,241		
法定福利費	1,842,760		
福利厚生費	275,910		
その他	0		
2) その他経費		14,363,297	
施設管理費	4,100,885		
旅費交通費	25,420		
広告宣伝費	549,862		
通信運搬費	447,062		
印刷製本費	423,120		ぐらしサポ便り等
材料仕入費	666,389		
減価償却費	105,062		
消耗品費	479,656		
委託作業費	319,200		
諸謝金	186,500		
賃借料	2,661,000		黄バスリース料等
車両関連費	2,736,437		来バス・レンタカー燃料代等
修繕費	0		
保険料	1,000,260		
租税公課	359,989		
その他	302,455		振込手数料等

科 目	金 額(単位:円)		備 考
2. 管理費		4,446,365	
1) 人件費		2,262,968	
給料手当	2,098,825		
法定福利費	113,477		
福利厚生費	50,666		
その他	0		
2) その他経費		2,183,397	
施設管理費	0		
旅費交通費	6,380		
広告宣伝費	0		
通信運搬費	47,551		
印刷製本費	10,044		
消耗品費	75,490		
租税公課	1,732,444		消費税・法人税等
その他	311,488		振込手数料・税理士費用等
当期支出合計(C)		36,110,573	
当期収支差額(B-C)		3,585,042	
次期繰越収支差額		3,585,042	

貸借対照表

特定非営利活動法人くらしサポート越後川口
全事業所

[税込] (単位:円)
平成28年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未払金	2,370,145
現 金	123,585	預り金	222,572
普通預金	5,767,619	バス回数券	4,500
現金・預金計	5,891,204	未払法人税等	70,000
(売上債権)		未払消費税等	1,097,000
未収金	1,070,826	流動負債計	3,764,217
売上債権計	1,070,826	負債の部合計	3,764,217
(棚卸資産)		正味財産の部	
棚卸資産	214,383	【正味財産】	
棚卸資産計	214,383	正味財産	3,585,042
流動資産合計	7,176,413	(うち当期正味財産増加額)	2,377,415
【固定資産】		正味財産計	3,585,042
(有形固定資産)		正味財産の部合計	3,585,042
車両運搬具	2		
什器備品	157,594		
有形固定資産計	157,596		
(投資その他の資産)			
長期前払費用	15,250		
投資その他の資産計	15,250		
固定資産合計	172,846		
資産の部合計	7,349,259	負債・正味財産の部合計	7,349,259

財産目録

特定非営利活動法人 くらしサポート越後川口

(単位:円)

平成28年3月31日現在

科 目	金 額		
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金・預金			
現金手許有高	123,585		
普通預金			
大光銀行 越後川口支店 No.3008202	5,767,619		
未収金			
中越防災安全推進機構オール川口フェスタ	108,000		
川口プラザ3月分運營業務管理費	613,440		
あいおいニッセイ同和損害保険料解約返戻金	58,560		
中越防災安全推進機構除雪機燃料戻し	18,410		
運動公園グループ施設管理費	272,416		
棚卸資産			
販売飲料他	214,383		
流 動 資 産 合 計		7,176,413	
2. 固 定 資 産			
車両運搬具			
黄バス(補助車両)ハイエースW300わ1026	1		
日産シビリアン(さんだーばーど)800す482	1		
レンタカーハイエースW300わ1025	0		
什器備品	157,594		
長期前払費用			
ハイエースW300わ1026 リサイクル料	15,250		
固 定 資 産 合 計		172,846	
資 産 合 計			7,349,259
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未払金			
長岡年金事務所	175,990		
従業員給料	578,966		
長岡市地域バス補助金返還	839,000		
渡辺石油(株)	146,160		
吉原印刷	67,832		
(株)プラカードジャパン	102,816		
オリエントオート販売(株)	205,124		
川口ふるさと創生アンケート調査作業費	76,000		
その他	178,257		
未払金合計		2,370,145	
預り金			
従業員(社会保険料等)	222,572		
バス回数券	4,500		
未払法人税等	70,000		
未払い消費税	1,097,000		
流 動 負 債 合 計		3,764,217	
負 債 合 計			3,764,217
正 味 財 産 合 計			3,585,042

監査報告書

平成28年5月9日

特定非営利活動法人くらしサポート越後川口
代表理事 水落 優 様

平成27年4月1日から平成28年3月31日までの事業年度における、くらしサポート越後川口の業務について、業務執行内容および収支決算等の監査を実施した結果、次の通り報告します。

1. 業務報告書は、事業計画に基づき適正に業務執行されているものと認めます。
2. 収支決算書は、予算の区分に従って決算の状況を正しく示しているものと認めます。
3. 会計帳簿は記載すべき事項を正しく記載し、領収書等の記載と合致していると認めます。

監事

長谷川 久 